

(様式第4号)

真田地区有線放送電話審議会 会議概要

1	審議会名	上田市真田地区有線放送電話審議会
2	日 時	平成26年12月18日(木) 午後7時から午後7時45分まで
3	会 場	真田地域自治センター 3階 301会議室
4	出席者	清水会長、横沢副会長、神林委員、高寺委員、竹内委員、中村委員、鳴澤委員、松井委員、宮入委員、山口委員 【欠席委員】下条委員、塚田委員、堀内委員
5	市側出席者	高橋真田地域自治センター長、藤沢地域振興課長、清水有線放送係長、山崎主任
6	公開・非公開等の別	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7	傍聴者	1人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成26年12月19日

協 議 事 項 等

- 1 開 会 (横沢副会長)
- 2 会長あいさつ (清水会長)
- 3 真田地域自治センター長あいさつ (高橋センター長)
- 4 協議事項 (進行 清水会長)
 - (1) 真田地区有線放送事業のあり方について
答申内容について
答申案について事務局説明
「はじめに」について
(委員) その答申から、4年が経過した現在、「加入者の」減少傾向が続き...と主語「加入者の」を入れたほうがいいかなと思います。
(委員) 「加入者」「利用者」どちらか
(委員) 「加入者」で統一してはどうか

「答申」について
(委員) 5年前とほぼ同じ答申ではあるが、特に問題はない。
(委員) 理由で通話機能については、不測の事態に備えた態勢を整えることとして、皆さんにお知らせしていくようにしてあり、よいと思う。

「付帯意見」について
(委員) (2)「地域に根ざした放送番組の一層の充実を図り、魅力ある有線放送電話事業に努められたい」に関連してくると思うが、もっと具体的に、前にも話しているが、自治会長会の際に資料を配ることなど、こちらから積極的に加入者を増やすような政策などもうたったほうがいいのか。事務局は大変かもしれないが、何とか1人でも2人でも増やしていく方法を取ってもらえるようにしたほうがいいのかと思う。
(委員) 機会あるごとにPRをしたり、加入者を増やす努力をしていくように。具体的に入れる。
(委員) 先ほどの「はじめに」では、「検討に当たっては、今後の経営見通し、放送電話設備の老朽化への対応及び真田地域における有線放送電話事業の役割などを主な論点として、慎重に審議を行いました。」となっており、経営・設備への対応・役割の3点で論を締めくくっているわけなので、当然答申でもその順番で、(2)と(3)を入替えて、そういう風に考えると付帯意見についても、1番最初に加入者が過半数以上の黒字経営だけでもそれに甘んじることなく、加入者を増やすべく努力をするというものを持ってくるほうが、説得力があるかなと思う。その次に役割だけではなく、地域情報の共有化についての文が入り、最後に老朽化に伴っての文が入る論じ方のほうがいいのか。

(事務局)付帯意見については、1点目に現在の黒字経営に甘んじることなく、加入促進を図るべく努力をするという。文を入れるということによいか。2点目については、真田地域におけるコミュニケーションの核となる役割を果たしており、さらに充実して魅力ある有線放送事業にしないさいということによいか。3点目が不測の事態に備えたということ加入者に周知しないさいということによいか。1ページの1番下の「利用者」を「加入者」に訂正し、周知することによいか。

(委員)検討に当たっての経営部分、役割の部分、設備の部分にまとめてもらえばいいと思う。

(事務局)(3)今後5年を目処にと入っているが、これはどうしますか。

(委員)(4)ということかな

(事務局)これは、加えたほうがいいか。資料でいくと6年目には赤字になるということで、5年後には再度審議会を立ち上げて、よく検討しないさいということ。

(委員)6年目に赤字になるから5年でという、急すぎて委員は大変だと思うが、2,3年でやったほうがいいようにも思う。必要に応じて審議会を開くほうがいいと思う。5年目とやったほうがいいのか。

(委員)いろいろもっと便利で安く経費のかからないものが出てくるかもしれない。どんどん出てくるかもしれない。その辺を考えると、必要に応じてのほうがいいのかな。

(事務局)ご指摘のとおり、資料の数字は、年々変わっていくので、必ずこの数字のとおりになるわけではない。もう少し黒字経営が伸びる場合もあるし、その逆もある。今後の推移を見ながらになるので。

(委員)そうですね。5年という数字を取って、必要に応じてという言い回しで。(4)ということを入れることで。

(異議なし)

その他

(委員)行政というのは、何でもかんでも効率的に物事を進めていくので地域性をあまり考えていないし投資しない傾向がある。これだけ有線放送事業がこの地域では需要があるので、行政のほうでもその辺を考慮して、補助金を出すということなどは一切出来ないものなのか。

(センター長)いろいろな形の有線放送があると思う。皆さんから料金を徴収してそのお金で運営している有線もあるし。武石のオフトークのようにいわゆる行政が全部用意して無料でやってきたサービスもある。ですから、いろんなサービスの形態が現在ある中で、上田市全体で新たな緊急放送システムをどうしたら一番、緊急災害時などに緊急告知が出来るのか等も含めて、議会の中でも議論されている。役所の内部でも関係者が集まって、いい方法はないかと有線放送も入っている会議で何回も協議されている。ただ、問題なのは設備投資、コストが非常に大きくかかってくる。そんな中でそれぞれの地域にあった現在ある設備をいかに有効に利用していただいて今後どんな形の新しいシステムが出来上がってくるか分からないけれども、それまで何とか現在の設備を地域の皆様のお力でつないで欲しいというのが、現在の上田市のスタンスではないかなと思う。なので、すぐに個別の補助金を出してという形は難しいのかなと思う。

(委員)市は大きくなっているが、地域ごとに要望が通るようになっていって欲しいなと思う。

(委員)会長、副会長、事務局で最終的にまとめて出来上がったものを、1月末から2月のあたりで皆さんに見ていただければと思うがよろしいか。

5 閉会(横沢副会長)

* 会議概要は原則として公開します。会議終了後、1週間以内に行政改革推進室へ提出してください。

* 非公開及び一部非公開としたものについては、その理由を記載してください。